

2021年6月18日
株式会社オーケーエム

サポイン事業に液化水素用大口径バタフライバルブの研究開発が採択

～脱炭素社会に貢献、大幅なコストダウンを実現するバタフライバルブ～

各種流体制御バルブの開発・製造・販売を行う株式会社オーケーエム（本社：滋賀県野洲市、代表取締役社長：村井米男、以下「オーケーエム」）は、2021年6月16日(水)、令和3年度の経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業（以下「サポイン事業」）」に「液化水素を安定的に封止する革新的構造を備えた水素社会の実現に不可欠な大口径バタフライバルブの研究開発」が採択されました。

■ サポイン事業とは

サポインは「Supporting Industry」の略で、中小企業・小規模事業者が大学や公設試験研究機関、他の企業などと共同で我が国産業を支えるものづくり基盤技術の高度化に向けた研究開発や試作品開発、販路開拓などの取組を支援するものです。令和3年度においては、全国で247件の申請があり、60件の事業が採択されました。

■ 研究開発センターの機能を発揮

2020年11月、オーケーエムは産官学との連携強化などを目的として、滋賀県野洲市に研究開発センターを開設しました。研究開発センター開設の狙いどおり、滋賀県工業技術総合センター・滋賀県立大学・滋賀県産業支援プラザと協力関係を築き、今回の採択に至りました。



オーケーエム 本社・研究開発センター

■ 脱炭素社会の実現を目指して

2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現には、水素の大量製造・輸送・貯蔵のための国際的なサプライチェーン構築が必要とされますが、従来の液化水素用バルブを大型化するとコスト要件を満たさなくなります。本研究開発では、軽量、省スペース、大幅なコストダウンを実現するバタフライバルブを開発し、液化水素（-253℃）を安定的に封止するための技術開発を推し進めます。

オーケーエムは、これまでにLPG（-80℃）やLNG（-163℃）に対応する極低温用ハイパフォーマンスバタフライバルブ（右図）を開発・製造しており、そこで得たノウハウを活用します。今後も人や環境に優しいものづくりを目指してまいります。



極低温用ハイパフォーマンス
バタフライバルブ

■会社概要

社名	:	株式会社オーケーエム
代表	:	代表取締役社長 村井 米男
本社所在地	:	滋賀県野洲市市三宅 446-1
ホームページ	:	https://www.okm-net.jp
設立	:	1962年5月31日（創業：1902年1月）
資本金	:	11億7,819万円
従業員数	:	連結：316名、単体：228名 ※2021年3月末時点、臨時従業員を除く
連結売上高	:	8,759百万円 ※2021年3月期
上場証券取引所	:	東京証券取引所市場第二部（証券コード：6229）
事業内容	:	工業用、建築用、船舶用等各種バルブの開発・製造・販売

<オーケーエムについて>

オーケーエムは、1902年創業の百年企業で祖業は木挽鋸の製造業でしたが、1952年より「バルブ」専門メーカーに転換し、常に業界の先端を行く製品開発に取り組んできました。取扱製品も多種多様で、建築、発電、船舶、各種プラント等、幅広い業界にバタフライバルブを中心とした流体制御機器を提供しています。その中でも、顧客と一体になり、顧客の個別ニーズに合わせたカスタマイズバルブを開発し、標準製品では対応できないニッチ市場を開拓してきました。

近年では、SDGsの取組の一環として、船舶排ガス用バルブやバラスト水処理装置用バルブ等の販売により、環境保全や生態系保護にも尽力しております。その成果が認められ、2020年6月に経済産業省より「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。また、2020年12月には東京証券取引所市場第二部への新規上場を果たしました。

■バルブ（弁）とは

主に配管などの内部を通す空気やガス等の気体、水や油等の液体、あるいは粉体等の流体が通る空間の開閉や流体の制御および調節等ができる可動機構をもつ機器の総称です。

■各種認定ロゴマーク



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社オーケーエム 経営企画課 森川・奥村
TEL : 077-518-1260(代表) MAIL : priir@okm-net.co.jp

※掲載情報は、発表当時の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。